

平成21年度教育委員会事務点検評価(平成20年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	9
事務事業の名称	博物館管理運営事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 博物館
		電話番号	04-2955 3804
実施期間	平成3年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H20~22)事業名	
	1節 生涯学習の振興		
	1項 生涯学習の推進	個別計画等の名称	
	2目 生涯学習の機会や場の充実		
実施根拠	博物館法および狭山市立博物館条例		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	平成3年に開館し狭山市の歴史・文化・自然等を広く啓蒙するとともに、来館者の教養を高めるために実施している。		

2 事務事業の目的・内容

目的	生涯学習の一拠点として、狭山市の歴史・文化・自然等を広く紹介するとともに、市民の学習活動を支援するため、資料の展示や講座等を開催する。		
対象	市民		
活動内容	常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗・産業・美術などを網羅的に展示し、教育普及では、体験学習を通して、広く博物館事業を啓蒙している。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	引き続き「ものづくり」に視点を置いた体験学習の充実を図ることができた。近隣の博物館には見られない講座の開催は、多くの受講者から評価されている。	
環境配慮	常設展示室の照明などは、入館者を確認してから点灯するなど、無駄な電力の経費軽減に努めている。		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	目標値の根拠・考え方
(実施動向指標)	体験学習や講座の件数(企画展関連を除く)	目標値	件	12	13	14	13	過去5年間の実績値をもとに設定
		実績値		13	13	13		
	達成率	108.3%	100.0%	92.9%				
	目標値							
(成果指標)	入館者数(企画展開催時を除く)	目標値	人	6,705	6,876	7,488	7,986	過去5年間の実績値をもとに設定
		実績値		6,906	9,048	9,501		
	達成率	103.0%	131.6%	126.9%				
	目標値							
		実績値						
		達成率						

4 事業費

		区 分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
経費	直接費	予算額	千円	56,071	64,711	53,839	50,518
		決算額	千円	55,066	63,657	52,740	
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円	2,656	2,095	1,836	
		一般財源	千円	52,410	61,562	50,904	
	人件費	従事職員数	人	3.91	3.91	3.91	
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	35,073	35,049	35,870		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	90,139	98,706	88,610	
効率性指標	指標名	年間入館者数-企画展開催時入館者数	人	6,906	9,048	9,501	1単位当たりの経費
	単位コスト	入館者1人当たりの経費	円	13,052	10,909	9,326	

5 事務事業の評価

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	生涯学習施設としての博物館の役割に沿って、各種講座やさまざまな体験学習等を開催し、市民ニーズに応えている。
		前年度 4	
	有効性	3	市内各地区の歩んだ歴史を学ぶ地域歴史講座を新たに開設し、水野・水富の両公民館との共催により、地域密着型の講座を開催することができた。また、企画展開催時を除く入館者数は、前年度に引き続き微増の傾向にある。
前年度 4			
効率性	手段の最適性 コスト効率の向上 受益者負担の適正化 執行体制の効率化など	4	地域を深く研究する場として重要である。受講料や参加費など、適正な受益者負担により事業を実施している。
		前年度 4	
		< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
	展示・講座・体験学習の充実により、入館者の増加を目指すと共に、施設の管理運営の効率化を図っていく。また、平成19年度より、博物館協議会において、常設展示の改修の在り方について協議している。		

6 その他(学識経験者の意見等)

・市民参加の運営がどこまで実施されているのか。  
 ・利用者が増加傾向にあり、市民ニーズに応じていることが分かる。学校などとの連携を深めたり、教育資源を見直し、体験学習等のさらなる展開が期待できる。ボランティア養成やその導入も課題であろう。